

## 2 「財政健全化」の取組

新たな発想で「財源確保」に創意工夫を凝らし、市民サービスの質を維持しつつ歳出削減・歳入増加につなげ、財政調整基金<sup>※1</sup>の取り崩しを抑えながら、収支の均衡を図ります。

### (1) 外部資金の活用による特定財源の確保

○国や県、公益的法人（B & G財団等）からの補助金等の外部資金を積極的に調達

- 「阿南市版ふるさと納税」の本格運用
  - ・令和3年度寄附額 約1億6,800万円
  - ・寄附金は、関係人口の創出・拡大・深化を目的とした「阿南SUPタウンプロジェクト」や光のまちステーションプラザの改修、若杉山記念講演会の開催等に活用



ふるさと納税を活用したSUPレースイベント

### (2) 特定目的基金の活用

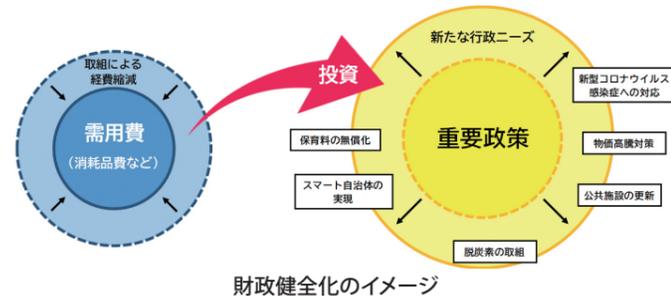
○特定目的基金とは、特定の目的のために資金を積み立て、運用するために設置される基金であり、運用方法によって「定額運用基金」、「取崩し型基金」、「果実運用型基金」に分類されます。

○「果実運用型基金」は、基金本体は取り崩さず利息のみを活用するものですが、低金利の状況下においてはその目的を十分に果たすことができないことから、基金造成の経緯を踏まえつつ、「取崩し型基金」への転換も含めた抜本的な見直しを行います。

○「果実運用型基金」以外の基金についても、新たな行政ニーズに柔軟に対応できるよう、その弾力的活用を図るための見直しを行います。

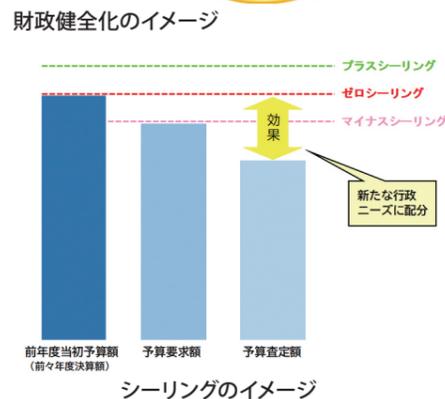
### (3) シーリング<sup>※2</sup>の試行的導入

○部単位、事業分野単位で予算の要求に際して上限を設け、一定の枠内で「選択と集中」の考えに基づくメリハリのある予算の編成を行う仕組みを導入



○歳出の増大を抑制するとともに予算配分の流動性を高め、保育料の無償化など新たな行政ニーズに予算を重点的に配分

- 令和4年度当初予算編成におけるシーリング対象経費
  - ・全事業における消耗品購入に係る経費（令和2年度決算ベースでゼロシーリング）
  - ・道路等事業に係る経費（令和3年度当初予算ベースで10%のマイナスシーリング）



※1 地方公共団体が年度間で生じる財源の変動に備えて積み立てておく基金。一般家庭で例えると「預貯金」に当たり、災害時など不測の事態が起きたときに取り崩して活用します。  
 ※2 本来の意味は「天井」。財政用語では「予算の要求基準（上限額）」のことを指します。

令和4年10月号7ページに掲載しましたグラフ「職員数の推移」における令和4年4月1日現在の職員数に誤りがありました。おわびして訂正します。（誤）842人 （正）843人



https://www.city.ana.akita.jp/

改訂後の集中改革プランを市ホームページで公開しています。

問い合わせ 行革デジタル戦略課 ☎24・8024



行財政集中改革プラン

# 持続可能な阿南市をめざして



本市では、将来にわたって持続可能な行財政基盤を構築していくため、令和3年度からの3年間を計画期間とする「阿南市行財政集中改革プラン」に基づく行財政改革に取り組んでいます。本連載は、取組の進捗状況について市民の皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的とし、連載3回目では、「公民連携」と「財政健全化」の取組についてお知らせします。（全4回）

## 1 「公民連携」の取組

指定管理者制度や自治体業務の民間委託など、民間活力を積極的に導入し、公共サービスの「新しい担い手」を増やすとともに、市民サービスの向上を図ります。

### (1) スポーツ施設等における指定管理者制度・ネーミングライツ制度の導入

#### 【指定管理者制度】

市が指定する民間事業者等（指定管理者）が、市に代わって公共施設の管理・運営を行う制度。民間事業者等が持つ豊富なノウハウを施設運営に生かすことで、利用者のさまざまなニーズに応え、満足度の向上につなげます。

○令和4年4月、スポーツ総合センターに指定管理者制度（指定管理者：岡田企画株式会社）を導入

○現在、第2弾としてB & G海洋センター複合型施設（通称：うみてらす北の脇）への導入を準備中



B & G海洋センター複合型施設（うみてらす北の脇）

#### 【ネーミングライツ制度】

「ネーミングライツ」とは、地方公共団体等が所有する施設等の名称に企業名や商品名等を冠した愛称を付与する権利のことで、ネーミングライツを取得した民間事業者等から対価を得て、施設等の運営および維持管理等に要する費用の一部に充てる制度です。



スポーツ総合センター サンアリーナ

○令和5年4月を目途に、スポーツ総合センターへのネーミングライツの導入を予定。ネーミングライツによって得られた収入は、スポーツ用具の充実など利用者サービスの向上に役立てていきます。

### (2) 民間保育施設の誘致

○子育て世代の皆さまが安心して子育てと仕事を両立できるよう、民間事業者と連携した保育施設のさらなる拡充を推進しています。

○現在、社会福祉法人ハート福祉会により、令和5年4月の開園を目指し、「幼保連携型認定こども園 エクセレント羽ノ浦こども園」の建設が進められています。